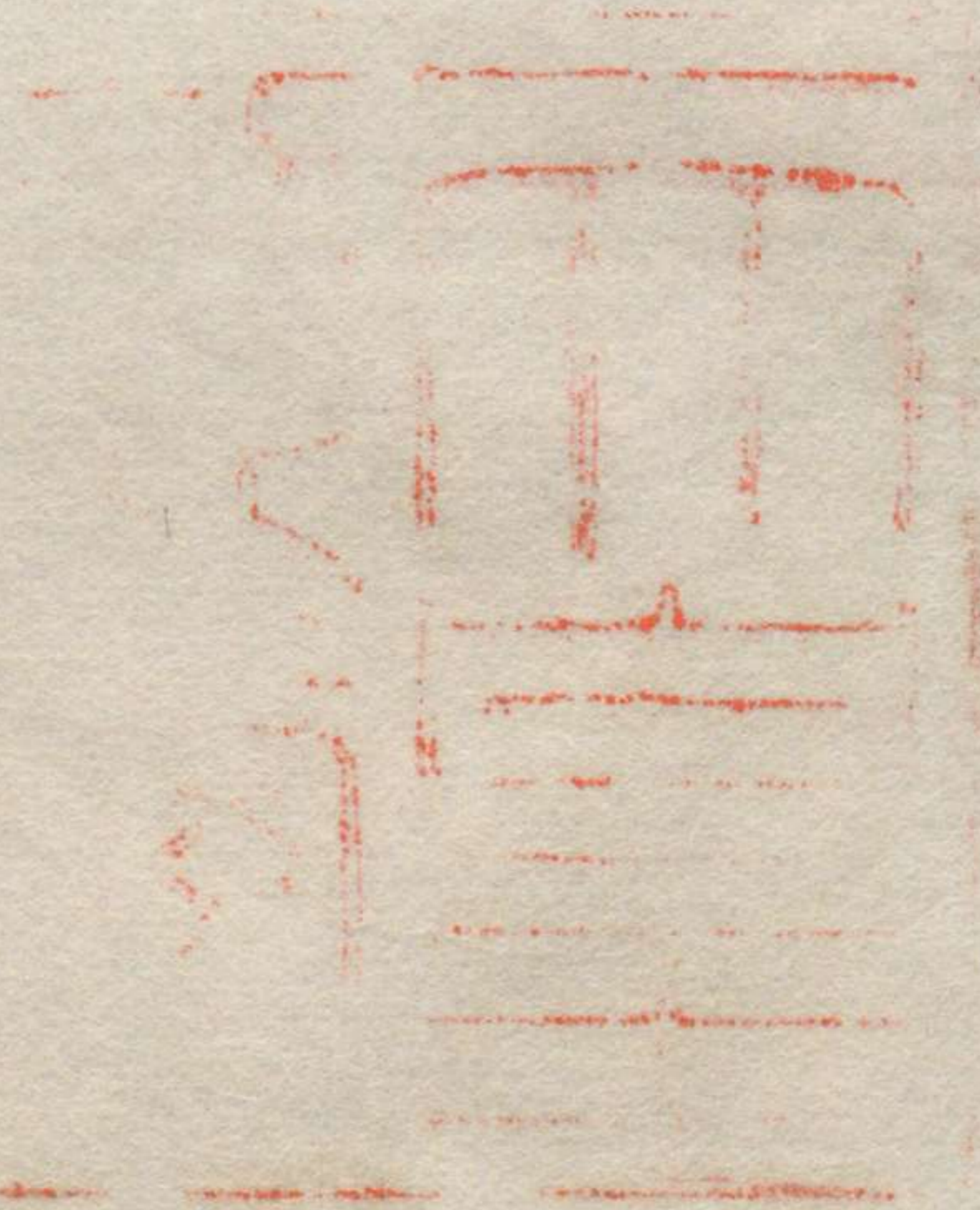
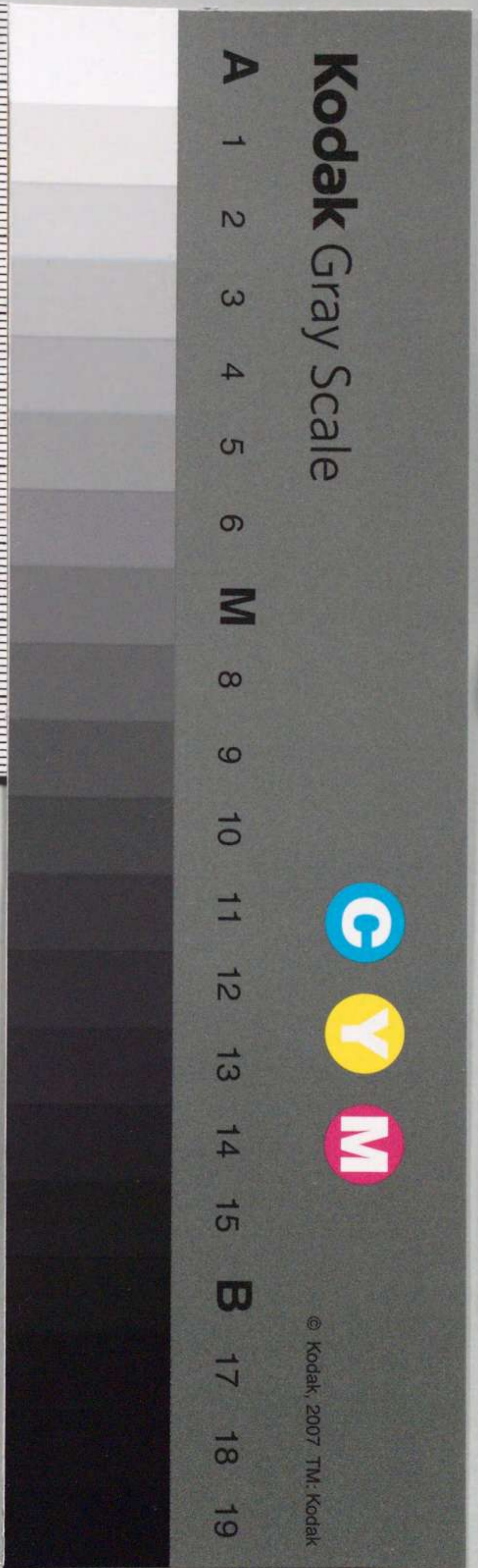


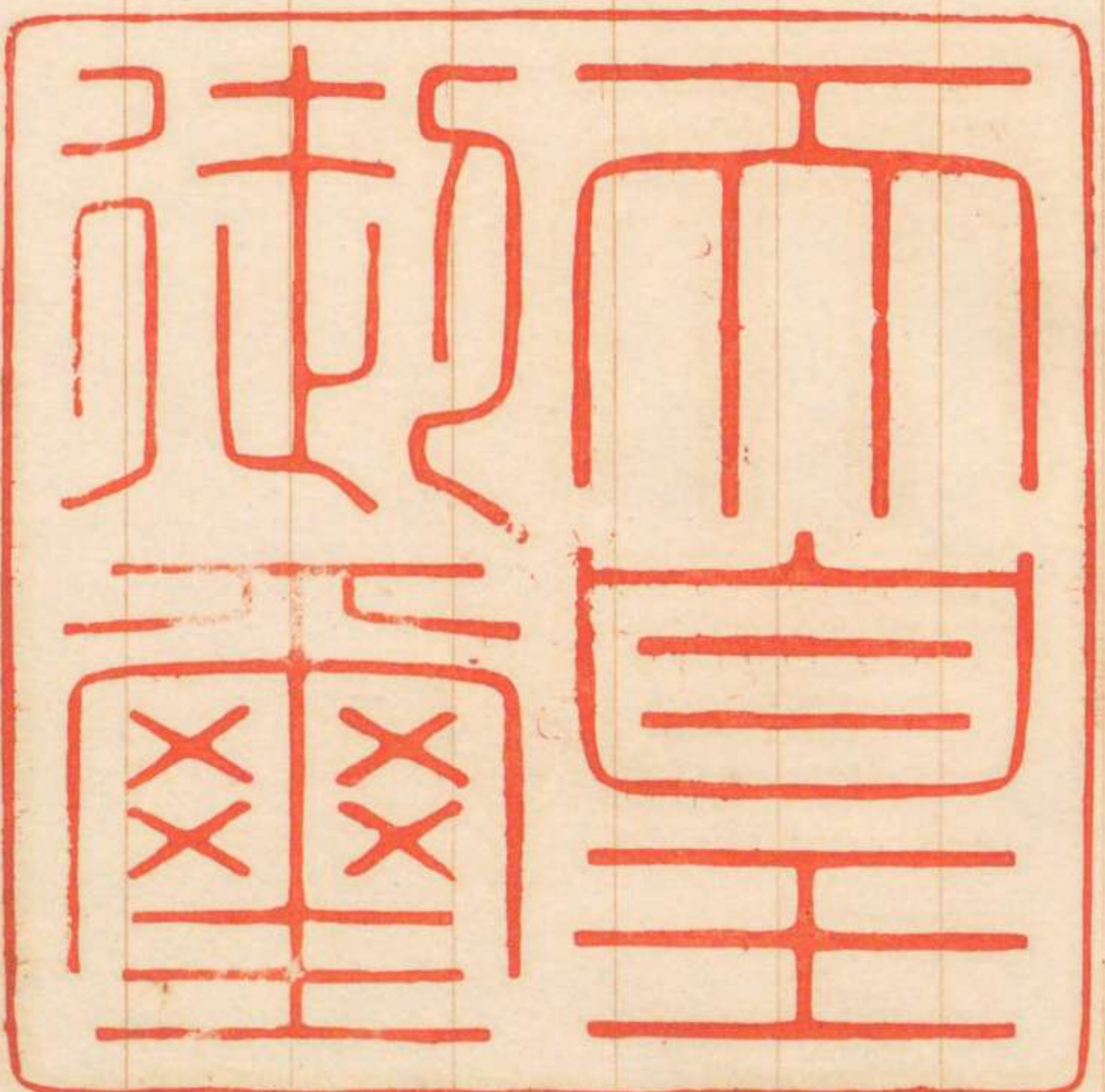
勅令 卯二二七号





朕海軍軍令部條例ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公
布セシム

睦仁



明治二十六年五月十九日

白

閣

内閣總理大臣伯爵伊藤博文
海軍大臣伯爵西郷從道

勅令第三十七號

海軍軍令部條例

第一條 海軍軍令部ヲ東京ニ置ク出師
作戰沿岸防禦ノ計畫ヲ掌リ鎮守府及
艦隊ノ參謀將校ヲ監督シ又教育訓練
ヲ監視ス

第二條 海軍大將若クハ海軍中將ヲ以
テ海軍軍令部長ニ親補シ
天皇ニ直隸シ帷幄ノ機務ニ參シ部務
ヲ管理セシム

第三條 戰略上事ノ海軍軍令ニ関スル
モノハ海軍軍令部長ノ管知スル所ニ
シテ之カ參畫ヲ爲シ 親裁ノ後平時
ニ在テハ之ヲ海軍大臣ニ移シ戰時ニ
在テハ直ニ之ヲ鎮守府司令長官艦隊
司令長官ニ傳令ス

第四條 海軍軍令部長ハ 勅ヲ奉シ檢
閱使ト爲リ鎮守府及艦隊ノ檢閲ヲ行
フ

第五條 海軍軍令部ニ副官二人ヲ置キ

一人ハ海軍軍令部ニ補シ一人
ハ本職アリ 其ノ一ヲ以テ之ヲ兼ネ
シメ命令ノ傳令及庶務ヲ掌理セシム

第六條 海軍軍令部ニ左ノ二局ヲ置キ
部事ヲ分擔セシム

第一局
一出師作戰沿岸ノ計畫艦隊軍隊
ノ編制及軍港ノ關スル事項

第二局
一教育訓練ノ監視、諜報及編纂ニ関ス

第三條 戰略上事ノ海軍軍令ニ関スル
モノハ海軍軍令部長ノ管知スル所ニ
シテ之カ參畫ヲ爲シ 親裁ノ後平時
ニ在テハ之ヲ海軍大臣ニ移シ戰時ニ
在テハ直ニ之ヲ鎮守府司令長官艦隊
司令長官ニ傳
第四條 海軍軍令部長ハ 勅ヲ奉シ檢
閱使ト爲リ鎮守府及艦隊ノ檢閲ヲ行
フ

第五條 海

副官二人ヲ置キ



一人ハ海軍大尉ヲ以テ之ニ補シ一人
ハ本職アル海軍大尉ヲ以テ之ヲ兼ホ
シメ命令ノ傳達及庶務ヲ掌理セシム
第六條 海軍軍令部ニ左ノ二局ヲ置キ
部事ヲ分擔セシム

第一局

一出師作戰、沿岸防禦ノ計畫、艦隊軍隊
ノ編制及軍港要港ニ関スル事項

第二局

一教育訓練ノ監視、諜報及編纂ニ関ス

ル事項

第七條 各局ニ局長各一人ヲ置キ海軍大佐ヲ以テ之ニ補シ各局ニ局員ヲ置キ第一局ハ海軍少佐二人海軍大尉四人ヲ以テ之ニ補シ第二局ハ海軍少佐一人海軍大尉三人ヲ以テ之ニ補ス又第二局ニハ局員ノ外海軍機関少監若クハ海軍大機関士一人ヲ置キ局務ニ服セシム

第八條 海軍軍令部出任將校トシテ臨

時海軍佐官或ハ海軍大尉四人ヲ置キ部務ニ服セシムルコトヲ得

第九條 公使館附將校トシテ海軍佐官或ハ海軍大尉八人ヲ置キ海軍軍令部長之ヲ管ス

第十條 海軍軍令部ニ海軍文庫主管一人ヲ置キ海軍大尉ヲ以テ之ニ補シ海軍ニ必要ナル圖書ノ蒐集保存ヲ掌ラシム

第十一條 前諸條ニ掲クルノ外海軍編

修一人海軍編修書記五人ヲ置キ第二
局ニ屬シ書記三人及技手一人ヲ置キ
部務ニ服セシム

内
降